

平成 29 年度第 1 回 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議  
各グループ(各部会)における質疑及び意見交換等の記録

平成 29 年 6 月 28 日

部会ごとの記録

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(1)『自然栽培』の生産・普及と『輸出産業』化

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

①東京五輪・パラリンピックの選手村への食材提供における具体的な動きは？

→G G A P 取得における生産者への支援（補助金）を計画中。

②H27 年度評価にあった、出向いて P R すること等、出口戦略の具体的な動きは？

→関東羽咋会、小規模事業者等に P R した。

③販売（出口戦略）における野菜の対応は？

→生で売るのは難しい。加工する等、付加価値をつけていくことが必要。

④就農者が増＝生産が増、出口対策は、J A になると思うが、市としての対策は？イベントを開催することか？

→加工品開発や営業等における支援を構築中。誰かがやってくれるのではなく、自らが売ることが重要。

⑤出口対策として、生産者個々の相談にのり、個々の取組に対する支援、補助金等を強化してほしい。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(2)『自然栽培』を含めた農産物（加工品を含む）の販路拡大による農村再生の支援

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

①現在の「はくい放送局」での販売は？

→JAを通して、野菜等の必要量を送っている。人参ジュースは、今月、70本売れたと聞いている。

②現在、加工品のアイテムは？

→味噌、トマトペースト、ハトムギも加工予定（はくい式自然栽培合同会社）。

③アンテナショップからなぜ手を引いたのか？

→羽咋の商品だと欠品がおき、安定しない。全国からの自然栽培を扱うお店として運営してもらうため。店舗の名前は「はくい放送局」のまま、羽咋の商品も扱ってもらい、店の魅力ある商品を集めている。

④方南町の土地柄を考えると、発信する土地としてふさわしくないのではないか。販売協力店舗として首都圏にこだわる必要はないのでは。

⑤1年を通じて出荷できる加工品への支援を強化すべき。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(3)「ジビエ」を素材とした戦略産品等の開発・販売

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

①実績が目標値を大幅に超えており、売上状況、イノシシ対策がまだまだ必要であることから、この事業は今後も進めていくべき。

②施設の関係でイノシシが処理できないのか。販売が難しいのか。  
→販売が難しい。販売体制が確立すれば、もう少し売れる。

③今日のTVで県の食堂でもイノシシ肉を提供するとニュースで見た。イノシシは、自然栽培に比べて、情報発信ができています。

④売り上げは、市の収入になっているのか？  
→羽咋市直営でやっているため、市の収入となっている。現在は、地域おこし協力隊が運営している。法人を立ち上げて運営したらよいのか等、彼らが自立して事業として成り立つよう効率的な運営を考えていきたい。

⑤革製品はどうか？  
→質が安定しないので難しい。革細工教室では、沢山の応募があったため、そのような事業展開も考えていきたい。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(4)『道の駅のと千里浜』の整備・推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

①副料理長がいなくてもまわせるのか？

→調理補助とともに運営していく。9月頃には、副料理長として雇用できる。

②人が集まりにくいというのが引っ掛かる。

→募集しているがなかなか集まらない。

③盛り上がりが欠けているのではないか。積極的な情報発信をするべき。

④来場者の目標は？

→年間 20 万人を予定している。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(6)企業立地・誘致の促進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

① 2社については、アクションを起こしたのか？

→働きかけたわけではない。

② H27年度評価にあるが、データ整理はできたのか？

→空き地の調査を行ったりしたが、データ整理はできていない。活用できるデータを今後整備していく必要がある。

③ 羽咋に合った、目線をかえた誘致が必要。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(7)工業用地の確保

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

①工業用地がなければ、誘致しなければいよい。工場を誘致するのにどれだけの効果があるのか。誘致したところで、道の駅でも人が集まらないのに、人が集まらないのではないか。  
→羽咋市の位置は、里山海道に近い、富山にも行きやすい、また、移住にも効果があるため、誘致は今後も取り組んでいきたい。

②社会情勢を考慮した上で、考えていくべき。

③他の地域にはない特色を出す必要がある。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(8)新規起業家への支援

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

①七尾市では、空き店舗が足りていない。もう少し情報があれば、新規起業が増えるのでは？  
→情報の集約・発信が課題である。商工会、商店街を連携していきたい。

②企業の強み生かす取組みをしてほしい。

1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(9)第二創業、小規模事業者の後継者育成への支援

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

①後継者の取り組みは非常によい取組みである。今後も積極的に続けていくべき。



1 【雇用創出グループ】 基本目標 1

2 具体的な施策：(10)官民協働、地域連携、政策連携による新たなビジネスモデルの創出と支援

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

①地域経済循環システムとは？

→地域内で循環する。地域で作ったものを地域で消費する。また、外貨を地域で消費し、経済を拡大していく。

②成果は？今の段階では？

→市独自で消費額を出すのは難しい。取組件数で評価。

③評価しづらい。

④進捗としては、長期的にみていく必要がある。

平成 29 年度第 1 回 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議  
各グループ(各部会)における質疑及び意見交換等の記録

平成 29 年 6 月 28 日

部会ごとの記録

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(1)移住・定住に関する総合相談窓口の設置

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

Q1：住宅の移住体験運用で経費がかかると聞いたが？

A1：修繕料がかかる。すぐに住もうと思っても空き家を体験住宅として借りているので水回りなどで修繕料がかかってしまう。体験に来る方に不便なく使っていただけるようにすることが必要になったため経費がかかった。今年度いっぱい契約が切れるので、建物をそのまま継続して借りるとすれば、すでに修繕してあるので修繕料は必要ないが、別に借りるとすれば、修繕料がなるべくかからないできるだけ新しい物件を探す必要がある。

Q2：68 日間、家族数でいえば？

A2：人数で言うと 27 名。件数で言うと 15 件。比較的多いのは一人、ないし、二人。お子さんがいると移住に踏み込むことに対して、学校などに通っている場合もあり、踏ん切りがつけづらい。单身の方、身軽な方が体験住宅にくることが多い。

Q3：実際この施策で移住を決めた方はいるか？

A3：家族連れの方で、もともと地域おこし協力隊になるつもりはなかったが、農業をしたいということで、お子様連れでいらして、地域おこし協力隊になっていただいた方もいる。

意見 1：継続的にやっていただきたい。東京の人などは石川県がどのへんかわからなかったが、北陸新幹線が通り、地域的なものは認知されつつあるので引き続きやってほしい。

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(2)移住・定住に関する情報発信と支援制度の充実

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：具体的な施策①と項目が重複しているので分けた方が効果検証しやすいのでは？

A1：窓口と対外的なPRで分けているが、今後検討する。

Q2：タイトルは支援制度となっているが、この項目に含まれているか？

A2：住まい関連の補助金で、空き家をリフォームする場合、1/3で50万円上限の補助などを行っている。借主、貸主どちらでも利用可能。賃貸にして貸そうという場合、家主が直すケースが多い。それ以外で最近多いのが、借主側で、自分の好きなようにリフォームし、費用も負担するが、返す時には原状復帰しないというケースが多い。これは、貸し手の費用負担がなく、借りる方は自分の好きなようにできる。また、空き家を貸して頂くときに、件数が増えないネックとなるのが、荷物や仏壇が残っていること。それに対し、平成29年度から、空き家情報バンクにのせることを条件として、荷物等の処分の補助を行う。

Q3：すべての支援制度による移住の実績は？

A3：平成28年度、補助を利用して転入した方が、140名。ただ、平成27年度、133名と若干の増加である。平成27年度と平成28年度ほぼ同じ制度だったので、平成29年度拡充したことでどう変わるかというところ。

Q4：140名というのは561名の社会動態の一部？

A4：そのように考えていただければ。空き家物件、新婚世帯などの条件に当てはまり、利用された方の数である。

意見1：これも継続でいいのではないか。

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(3)『道の駅のと千里浜』を核とした交流人口の拡大

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：羽咋米の仕入れは羽咋まちづくり株式会社が？加工も？

A1：はい。

Q2：収穫量は？

A2：30t。

Q3：神子原米との収穫量の差は？

A3：今は神子原米も同じくらい。400～500 俵くらいなので、t でいうと一緒くらい。

Q4：あとは、大豆とか？

A4：大豆、お酒、味噌など。

Q5：仕入れだけ行って、加工は農家、JA などに委託をしているのか？

A5：いろいろなところに加工はしてもらっている。

Q6：web サイトの構築ができていると思うが、アクセス数などは増えているか？

A6：オープンが近いので増えている。

意見1：神子原米と同じくらいの勢いで売れてほしい。

意見2：web サイトのアクセス数も効果検証に使ったらどうか。

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(4)羽咋駅周辺の整備

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見 1：今後、高齢者の鉄道利用も増えてくると同時に、観光であればタクシーを使う  
と思うので、タクシーのデータもあればいいのでは。

意見 2：レンタサイクルの利用実績もあれば合わせて効果検証できるのでは。

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(5)めぐまれた自然・歴史文化財の保存と利活用

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：バイクイベント時の宿泊状況はどうか？

A1：市内では何百程度。金沢、七尾、氷見などに行っている。羽咋に宿泊するのは1/3程度。

意見1：新たなイベントを考えてみるのも手ではないか。

意見2：歴史文化財を利用したイベントなど

意見3：グループが違うが、寺や神社での婚活等

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(6)合宿・修学旅行の積極的誘致

3 総合評価： △

4 委員からの主な意見等

Q1：何を目的とした合宿を呼ぶか。スポーツ合宿だと施設がないので厳しいとなると、何を PR の材料にするか。

A1：目的をどう作っていくのか、それがないとそもそも PR するのが難しい。

今は、補助制度があるのが当たり前になっている。これがないと学生はこない。

意見 1：内容を継続しつつ、新たなアイデアを。

1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(7)官民協働による特産品・名産品等の開発及び販売促進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：道の駅の営業時間は？

A1：9：00～18：00 が基本で、夏は9：00～19：00、冬は9：00～17：00。



1 【移住・交流グループ】 基本目標 2

2 具体的な施策：(8)観光資源の発掘、磨き上げの促進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見 1：道の駅にいろいろな観光案内があるのなら、波及効果がでてくると思うので、その結果を見てから検証すればいいかと思う。

1 【移住・交流グループ】 基本目標2

2 具体的な施策：(9)インバウンド観光の推進・充実

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：高山市などは多言語のパンフレットを作っていたりするが、どこの国に売り込んだら見てもらえるか自分たちで調査している。市が主体的に何か計画して動くことはあるか？

A1：パンフレットは英語と台湾語に対応している。

Q1：道の駅の看板は日本語だけか？

A1：ローマ字表記もしている。

Q1：QRコードなどの利用はどうか？市のホームページで1ページ増やすとか。

A1：1度作ると、更新するときに誰が翻訳していくのが課題になってくる。

Q1：七尾の食祭市場などはアプリを利用しているのではなかったか？

A1：アプリ系はアプリをインストールしなければならず、情報を得るためにアプリを入れるかということも考えなければならない。

平成 29 年度第 1 回 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議  
各グループ(各部会)における質疑及び意見交換等の記録

平成 29 年 6 月 28 日

部会ごとの記録

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標 3

2 具体的な施策：(1)出会いの場の創出、支援

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

Q1：イベントをする青年団等の各種団体に助成をしているのか

A1：広報で実施団体を募集している。1 団体 10 万円まで。今年度は 3 団体募集中。  
それ以外にも、市主催で民間企業と共同で実施するイベントもある。

意見 1：イベントの周知、PR に力を入れていく必要がある。

意見 2：結婚ばかりを押し出すのではなく、気軽な出会いの場とすれば、参加しやすい。

意見 3：参加者の生活にプラスになるような情報を得られる、文化活動などを目的とし、  
楽しい時間を過ごせる企画にすれば参加者が集まるのではないか。

意見 4：前年度の成果も上がっているなので、このまま事業を継続していただきたい。

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(2)子どもに係る経済的負担の軽減

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

Q1：対象は保育所だけなのか？

A1：保育所だけでなく、認定保育園も対象となるので、羽咋市の全体の保育所・園で適用となる。

Q2：近隣の市町村の住民にもPRしているのか？

A2：特に行っていない。市外については市HPのみ。

意見2：市HPは用事がある一部の人しか見ない。かほく市などはCMも流している。羽咋市でも助成を行っているのに、CMを流している市だけが特化して助成しているように思ってしまう。

意見3：ふるさとCM大賞でPRしてみてもどうか。

意見4：羽咋市の住みやすさ、良さを内外に知ってもらうよう努力する必要がある。

意見5：他市の住民を呼び込むようなPRが必要

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(3)家庭保育支援の充実

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

Q1：どのように周知しているのか？

A1：出生届けの際や、4ヵ月、1歳半、3歳児検診でチラシを配布し、説明をしている。

Q2：初回無料サービスはないのか？

A2：ない。以前にお試し制度を実施したが利用者がいなかったため。

(事業の課題)

提供会員（保育を提供する人が）なかなか集まらない。

現在64名の登録があるが実働は10名程度である。

Q3：料金設定はどうなっているのか

A3：利用者は2時間で1,000円、提供会員の報酬は2時間で1,500円

意見1：提供会員の報酬が安すぎる（時給換算750円）

意見2：近隣の市町村と同等の報酬設定となっているとのことだが、提供会員に心にとりを持って保育をしてもらうためにも、報酬を上げて良いのではないか。

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(4)保育ニーズに対応した保育所運営

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見：利用者も多く、良い制度なのでこのまま継続していただきたい。

Q：受け入れ側の体制は大丈夫なのか。

A：足りるように職員を配置しているので問題ない。

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(5)国際的に活躍できる人材の「卵」の育成

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

〈参考〉

英語検定受験料奨励費支給制度：H29年度から受験料の半額を助成している。

意見1：指標の中学3年生の50%の生徒が英検3級以上を取得するという目標は、ハードルが高い。

意見2：今年度は奨励費支給制度の実施の初年度であるため、英検を受ける生徒が増える良いきっかけとなっている。

意見3：他市では全額助成しているところもあるので、今後は徐々に助成の拡大を期待したい。

1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(6)キャリア教育の推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見1：長年、実施している事業だが、市の予算がついてない。

意見2：事業所に受け入れをお願いするだけでは、事業所側の負担だけ大きい。

意見3：事業所のメリットを考えなければならない。

意見4：事業所に何らかのお礼をする、広報に協力事業所を掲載するなどしてはどうか。

意見5 以前は高校に職場体験がなったため、中学でのわく・ワークは貴重な体験であった。現在は高校でも実施している。良い事業ではあるが、今後の継続を含めて見直してもよいのではないか。

意見5：子どもたちが進路や将来の職業を考える良いきっかけとなっている。

意見6：事業を継続していくにあたり、市が新しい協力事業所を開拓し、事業内容を見直す必要がある。



1 【結婚・出産・子育てグループ】 基本目標3

2 具体的な施策：(7)体育・健康に関する活動の充実

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見1：子どもたちの体力もアップし、クラスも盛り上がる取組みである。

意見2：元々は県の事業であり、市は目標を設定するのみで、予算付けもない。市が独自に表彰をするなど、子どもたちのやる気に繋がるような取組みをしてほどうか。

平成 29 年度第 1 回 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議  
各グループ(各部会)における質疑及び意見交換等の記録

平成 29 年 6 月 28 日

部会ごとの記録

- 1 【地域づくりグループ】 基本目標 4
- 2 具体的な施策：(1)住宅取得の支援制度の拡充
- 3 総合評価： ◎
- 4 委員からの主な意見等

Q 1 : 三世代同居の定義は？

A 1 : 祖父母、父母、18歳未満の子供が同居

Q 2 : 実績値の 49 人の内訳は？

A 2 : 市外からの転入者のみを挙げてある

意見 1 : 三世代同居に対する助成を手厚くし、子育て環境の充実を図るという方向性は良いのではないか。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(2)若者の移住・定住の促進を図る宅地供給の推進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：若者が移住してくることは大切。その受け入れ体制を整えることが大切。

意見 2：駅前から離れた場所の分譲だが、市街から離れる分、値段が安くするなど、何かメリットがあっても良いのではないか。

意見 3：10 区画の分譲地に対して、H27 年度の目標値の 20 人は少ないか。

1 【地域づくりグループ】 基本目標4

2 具体的な施策：(3)空き家・空き地の活用促進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見1：移住希望者と所有者でのニーズに差異があるとのことだが、先の「若者の移住・定住の推進を図る宅地供給の推進」と合わせて考えてはどうか。

意見2：空き地の活用促進については書かれていないが。

意見3：借りたい人へのPRはあるが、大家さんへのPRが足りないのでは。

Q1：民泊についてはどう考えるか。道の駅も出来て、羽咋に滞在してもらうためには、民泊があれば、羽咋の町中に入ってきてくれるのではないか。

A1：大家さんが活用すると言え、可能である。

Q2：危険な家など把握しているのか。

A2：している

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(4)公共施設等の総合的な管理運用、再編の推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

Q1：対象となりそうな施設あるのか。

A1：現在は未定。

Q2：施設はなくすこともあるのか。

A2：有りうる。

1 【地域づくりグループ】 基本目標4

2 具体的な施策：(5)認知症施策の充実

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見1：認知症サポーター養成講座を1回受講しただけでは足りないと思うので、フォロー研修は大切だと思う。フォロー研修をもっと増やしていく方向で進めてほしい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(6)生活習慣病の予防

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：電話催告は効果が出ていると思う。

意見 2：健康づくり推進員の人数をもっと増やすべきだと思う。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(7)がんの早期発見と予防対策の推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見 1：受診率が向上しており、取り組みが評価できる。



1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(8)健康でアクティブな生活の実現

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

Q1：有酸素運動とは、はつらつ体操のことか

A1：違う。はつらつ体操は、高齢者向けの体操。筋トレとはつらつ体操の中間の体操。いろんな方のレベルに合わせて教室を実施している。

意見1：さらに参加者を増やしてほしいという意味を込めて、取り組み内容の深化・発展と評価したい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(9)地域循環型交通手段の確保

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：乗客数が減っているが、高齢者の車の運転は危険なので、運転免許の返納と合わせて、るんるんバスの利用も促していくべき。

意見 2：バスの本数を増やしても利用者が増えるわけではないと思うので、難しい問題だと思う。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(10)再生可能エネルギー利活用による低炭素社会の推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見 1：高知県では、公共施設に多く、太陽光発電を取り入れているが、羽咋市でももっと増やしていくべき。

Q 1：ユーフォリア千里浜の熱源を灯油から電気に変更したことで、二酸化炭素の削減に貢献しているが、他にも予定はあるのか。

A 1：邑知公民館については、省エネ対策を考えている。

Q 2：風力発電を検討してはどうか。

A 2：羽咋市は安定的な風が吹かないため、検討していない。

1 【地域づくりグループ】 基本目標4

2 具体的な施策：(11)町会への支援と充実

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見1：町会への支援とあるが、青年団や、婦人会の活性化につながるものにしてほしい。地域の横のつながりを強くするための支援であってほしい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(12)地域コミュニティの活性化と地域づくりへの参加・促進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：登録している団体は、公共福祉にかかわる団体や趣味のサークルまで内容は千差万別。いろいろな団体が活動していることを知らない人がいるのではないかな。

婦人会はなくなってきているが、逆に、こういった団体の方が増えてきている。自分の考えと合致する団体が増えていく方が良いのではないかな。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(13)羽咋創生を担う市民提案事業への支援

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：市民活動支援センターとからめてみても良いのでは。

意見 2：上限 30 万円は大きい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標4

2 具体的な施策：(14)ふるさと納税の推進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見1：返礼品の上限や制約が設けられたが、引き続き工夫して取り組んでいってほしい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(15)地域おこし協力隊の活用と支援

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見 1：縁あって羽咋に来てくれた方なので、自立支援に力を入れてほしい。



1 【地域づくりグループ】 基本目標 4

2 具体的な施策：(16)世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信、保全活動の推進

3 総合評価： ○

4 委員からの主な意見等

意見1：トレイルランのコースのところどころに応援に立ってほしい。

1 【地域づくりグループ】 基本目標4

2 具体的な施策：(17)行財政改革の推進

3 総合評価： ◎

4 委員からの主な意見等

意見1：86.6%まで達成しているので、評価できる。